新たな特産品の開発やその宣伝普及に向けた取組について

資料1

音更町経済部商工観光課

1　産業振興支援補助金による取組について

平成24年度から開始し、令和5年度までの採択件数は34件（1,196万円）

採択した事業内容（抜粋）

新商品開発の支援	酒米「彗星」栽培（十勝晴れ）
	有機栽培小麦を使用したパン
	リーキ（ポロネギ）を用いたジャム等
	野菜の乾燥加工製品
	ブロッコリーラーメン（袋麺）
	焼き菓子・ジャム（イチゴ）等

デザイン・容器・包装材等の作成支援	マンゴーのパッケージデザイン等（白銀の太陽）
	なたね油のパッケージ、リーフレット等
	シャイニングコーン（白トウモロコシ）の販促物等
	ジャガイモ発送用段ボールのデザイン
	イチゴの発送用容器・包装資材
	木野ｅビーフパンフレット
	ワインラベル、ロゴデザイン、リーフレット、ポスター等

新たな特産品の開発やその宣伝普及に向けた取組について

音更町経済部商工観光課

イベント等	麦感祭（2回目の開催経費）
	ら～めん村（1回目の開催経費）
	JA木野の直売所あり方検討のための研修会
	モールウォッシュチーズを用いた加工品の商談会出展

音更町産の農畜産物を用いた特産品の開発や容器包装材等のデザイン作成の支援、PRにつながるイベント等の開催・出展経費の支援を通じて本町の農商工観連携の推進に寄与

【産業振興支援補助金　概要】

- 町内の個人、企業等が行う農畜産物の加工等による高付加価値化の取り組みなどが対象
- 補助金額は、補助対象経費の2分の1以内（限度額：100万円）
- 原則補助は1事業につき1回（最大3回まで）

新たな特産品の開発やその宣伝普及に向けた取組について

音更町経済部商工観光課

2　音更町物産協会による取組について

●JAおとふけ、JA木野、商工会、観光協会、森林組合、よつ葉乳業、コカ・コーラ、郵便局、町で構成（事務局：町経済部商工観光課産業振興係）

●令和4年4月の道の駅おとふけ移転開業に向けて、特産品の開発、監修に取り組む

乾麺（うどん、ひやむぎ、そうめん）	パスタ（小麦、音更大袖振大豆使用）
豆スイーツ（小豆、黒豆、金時等）	つぶあん、こしあん
きなこ（音更大袖振大豆、黒豆）	こだわりあんこ（「皇（かがやき」使用）
甘納豆（音更小豆、金時）	大豆コーヒー（音更大袖振大豆、黒豆）

など

新たな特産品の開発やその宣伝普及に向けた取組について

音更町経済部商工観光課

「きなこねじり」の開発

令和4年4月の道の駅おとふけ移転開業に向けて、特産品のアイテムを増やしたい。

音更大袖振大豆を用いた加工品を作りたい。また開発時間の限られる中、既存の加工品を流用した商品を作りたい。

➡ 「きなこねじり」の誕生

神社に飾られているしめ縄をイメージして人の手でねじって仕上げられる。
大豆の風味とほどよい甘さで好評を得ている。
70g入りと150g入り、音更大袖振大豆と黒豆バージョン　計4種類展開

販売状況（数量）　※4種類合計

R4年度	R5年度	R6年度（～12月）
約9,800個	約14,400個	約21,200個

販売取扱は、道の駅おとふけ、セイコーマート（町内8店+帯広駅前店）、Aコープおとふけ店、十勝川温泉の旅館（清寂房）など。また、ふるさと納税返礼品として人気の商品である。

新たな特産品の開発やその宣伝普及に向けた取組について

音更町経済部商工観光課

3　最近の取組について

音更高校×藤森商会（インデアンカレー）、カフェグリーン

道の駅おとふけでの新商品、新たなメニュー化を目指しての取り組みを支援

●よつ葉乳業の生クリームに音更産のシャインマスカットを使用したどら焼き

～「ドラシャイン」

●音更産ブロッコリーとよつ葉乳業のバターとヨーグルトを使用したインデアンカレー

～「ブロッコリーホタテカレー」、「濃厚バターチキンカレー」

⇒　生徒からは大豆ミートによるメンチカツのトッピングも提案があり、開発を継続

4　宣伝普及の取組について

例：オトプケ浪漫（赤ワイン）販売開始のPRイベント

「北の屋台」と連携し、「音更町フェア」を開催

令和6年3月1日から9日にかけて、北の屋台全20店舗でオトプケ浪漫とワインに合うおつまみ（音更産の食材を使用）をメニュー化する取り組みを実施